

平成23年度第12回公立大学法人熊本県立大学教育研究会議 議事録

日時：平成24年2月20日（月）9時30分～9時55分

場所：熊本県立大学 本部棟2階 大会議室

出席：学長 古賀 実
副学長 半藤 英明
事務局長 益田 和弘
文学部長 山田 俊
環境共生学部長 有蘭 幸司
総合管理学部長 三浦 章
地域連携センター長 篠原 亮太
学術情報リサーチセンター長 津曲 隆
アドミニストレーション研究科長 黄 在南
熊本県公立高等学校長会会長 森塚 利徳

欠席：前熊本近代文学館館長 河原畑 廣
昭和女子大学教授 渡辺 満利子

オブザーバー：文学研究科長 村里 好俊
環境共生学研究科長 堤 裕昭

事務局：渡辺事務局次長、林田教務入試課長、高橋学生支援課長、馬場総務課長、阪本企画調整室長、田中学術情報リサーチセンター事務長、枝國地域連携センター事務長、教務入試課元島班長、同課西本主幹

1 開会（進行：渡辺次長）

2 学長挨拶

3 議事（議長：古賀学長）

（1）審議事項

① 平成24年度入学者選抜における合格者の決定について

1）私費外国人留学生入試

事務局教務入試課から、資料1-1に基づき、「私費外国人留学生入試は、2月4日土曜日に試験を実施した。募集人員若干名に対して、6名が志願、受験した。志願者の国籍は全員中国。各学部で合否判定を行っていただいた。」との説明があった。

続いて、各学部長から資料1-2に基づき説明があった。文学部長から、「日本語日本文学科に1名が志願、受験したが、得点が低く6割に満たないため、不合格としたい。」との説明があった。環境共生学部長から、「居住環境学科に1名が志願、受験した。得点が6割を超えており合格としたい。食健康科学科に2名が出願、受験した。得点が6割を超えた1名を合格とし、得点が6割を切り、3割を切る科目がある1名については不合格としたい。総合管理学部長から、「総合管理学科には、2名が志願、受験した。2名とも得点が6割を超えており、合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

2) 大学院文学研究科春季募集

事務局教務入試課から、資料2-1に基づき、「文学研究科日本語日本文学専攻博士前期課程は、春季募集人員2名に対して、3名が志願、受験した。文学研究科英語英米文学専攻博士前期課程は、春季募集人員2名に対して、4名が志願、受験した。文学研究科日本語日本文学専攻博士後期課程は、春季募集人員1名に対して、1名が志願、受験した。」との説明があった。

続いて、文学研究科長から、資料2-2に基づき、「日本語日本文学専攻博士前期課程については、外国人留学生特別選抜に志願、受験した1名と専門職業人に志願、受験した2名の合わせて3名を合格としたい。英語英米文学専攻博士前期課程は、一般選抜に3名が志願、受験した。3名とも基準点を上回っているため合格としたい。シニア特別選抜に1名が志願、受験した。基準点を超過しており、合格とし、合わせて4名を合格としたい。日本語日本文学専攻博士後期課程は募集定員1名に対し1名が志願、受験した。基準点を上回っており合格としたい。英語英米文学専攻博士後期課程には志願者がなかった。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

3) 大学院環境共生学研究科春季募集

事務局教務入試課から、資料3-1に基づき、「環境共生学研究科博士前期課程は、春季募集人員若干名に対して、6名の志願があり、5名が受験した。環境共生学研究科博士後期課程は、春季募集人員3名に対して、3名が志願、受験した。」との説明があった。

続いて、環境共生学研究科長から、資料3-2に基づき、「一般選抜は、4名が志願、うち3名が受験した。3名とも基準点を上回っており合格としたい。社会人特別選抜は、2名が志願、受験した。2名とも基準点を上回っており合格としたい。合わせて5名を合格としたい。博士後期課程は、一般選抜に3名が志願、受験した。基準点を上回っており3名とも合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

4) 大学院アドミニストレーション研究科春季募集

事務局教務入試課から、資料4-1に基づき、「アドミニストレーション研究科博士前期課程は、秋季及び春季を合わせて募集人員20名に対して、12名が志願、受験した。アドミニストレーション研究科博士後期課程については、秋季及び春季を合わせて募集人員4名に対して、1名が志願、受験した。」との説明があった。

続いて、アドミニストレーション研究科長から、資料4-2に基づき、「博士前期課程一般選抜は3名が受験した。3名とも6割を超過しており合格としたい。社会人特別選抜には8名が受験した。8名とも6割を超過しており合格としたい。外国人留学生特別選抜には1名が受験した。6割を超過しており、合格としたい。博士後期課程は、社会人特別選抜を1名が受験したが、面接点が6割に達しておらず、不合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

4 その他

次回以降日程

第13回会議 平成24年3月5日 (月) 午前11時～

第14回会議 平成24年3月13日 (火) 午後2時30分～

第15回会議 平成24年3月21日 (水) 午前11時～

5 閉会